

令和3年度事業報告書

令和3年度は16事業を実施した。事業の概要及びこれに要した経費（表彰費、支払助成金、印刷製本費等の事業に直接要した経費）は下記のとおりで、経費の総額は41,972,362円（令和2年度は35,812,931円）である。

なお、事業に要した人件費、賃借料等の経費は、21,180,304円（令和2年度は21,736,572円）で、事業費の総額は63,152,666円（令和2年度は57,549,503円）である。

1 安全な地域社会実現のために功労があった警察職員及び地域住民の表彰事業

(1) 地域安全功労者表彰

安全な町づくりのために多大な貢献をした警察職員及び地域住民22人に対し、地域安全功労賞を授与した。

なお、新型コロナウイルス感染防止の観点から表彰式は実施しなかった。

経費は、2,228,031円である。

（令和2年度は、2,431,056円）

(2) 地域社会の安全と秩序の維持に貢献した警察官友の会の会員表彰

地域社会の安全と秩序の維持のために多大な貢献をした地域住民（会員）31人に対し、感謝状と記念品を贈呈した。

経費は、648,000円である。

（令和2年度は、648,000円）

(3) 警察研究論文表彰

令和2年度中に公刊物に掲載された警察職員の優れた警察研究論文（最優秀賞1編、優秀賞5編）に対し、警察研究論文奨励賞を授与した。

なお、新型コロナウイルス感染防止の観点から表彰式は実施しなかった。

経費は、706,852円である。

（令和2年度は、811,700円）

(4) 警察活動に顕著な功労を挙げた職員の表彰

警察功労賞及び警察庁長官賞詞を受賞した警察職員255人に対し、ギフトカード券を贈呈した。

経費は、5,078,218円である。

（令和2年度は、6,040,872円）

2 公的資格等を取得した警察職員及び地域住民の支援事業

職務に直接関連する公的資格等を取得した警察職員及び社会に貢献するために必要な公的資格等を取得した地域住民（警察OB）計1,365人に対し、その資格取得に要した費用の一部を助成した。

経費は、13,294,499円である。
(令和2年度は、7,868,574円)

3 広報紙による警察職員及び地域住民に対する普及啓発事業

福利厚生に関する情報、財団の活動内容等を警察職員及び警察OBに周知するため、広報紙「JP生きがいだより」を令和3年6月と12月の2回発行した。

経費は、3,499,462円である。
(令和2年度は、3,460,541円)

4 警察職員及び地域住民に対する生涯生活設計セミナーの講師派遣事業

実りある生涯生活設計づくりのために、都道府県警察が警察職員及び地域住民（配偶者）を対象として開催した、生涯生活設計セミナーに際して、財団が契約している講師を派遣し、また、都道府県警察が独自に講師を招へいた場合には、それに要した経費の一部を助成したもので、令和3年度は8地方機関（関東管区は2回）及び25都道府県に助成した。

経費は、2,125,152円である。
(令和2年度は、1,676,168円)

5 地域社会活動に参加する警察職員及び地域住民の支援事業

地域社会活動に参加する警察職員及び地域住民（警察OB並びに配偶者・同家族）が、安心して活動に専念できるよう、申請のあった者を審査の上、5,545人について財団がJPボランティア保険（傷害保険）に加入し、保険料を助成した。

経費は、1,729,856円である。
(令和2年度は、1,741,013円)

6 警察職員の生涯生活設計関係支援事業

(1) 生涯生活設計ガイドブック「価値ある人生のために」の作成・頒布

警察職員が生涯を通じて、健康で経済的に安定した生活を送るために生涯生活設計の重要性を認識し、生涯生活設計を立てる方法等を習得するためのガイドブック「価値ある人生のために」を7,000部作成し、頒布した。

経費は、4,389,650円である。
(令和2年度は、2,059,661円)

(2) 生涯生活設計に関する警察学校初任科生用ガイドブック「ライフプラン・テキスト」の作成・配布

新規採用された警察職員が初任教養時から将来を見据えた生涯生活設計の重要性・必要性を認識し、生涯生活設計の知識を持つことにより経済的に安心して職務に専念できるようにするためのガイドブック「ライフプラン・テキスト」を9,520部作成し、都道府県警察学校初任科生に配付した。

経費は、1,227,012円である。

(令和2年度は、1,389,685円)

(3) 退職する職員のためのシニアライフハンドブック「これだけは知っておきたい」の改訂版の作成・配付

警察職員が退職後すぐに必要になる年金、介護保険、税金等に関する知識、手続き等を最新の法律、規則に基づき分かりやすくまとめたハンドブック「これだけは知っておきたい」を7,370部作成し、退職直前の職員に配付した。

経費は、1,887,447円である。

(令和2年度は、1,913,696円)

(4) ハンドブック「感染症と闘ってきた日本人」の作成・配布等

警察職員が知識を広め、豊かな教養を身につけるための生きがいハンドブックとして、令和3年度は「感染症と闘ってきた日本人」を14,500部作成し、全国警察に配付した。

経費は、3,649,940円である。

(令和2年度は、3,892,876円)

(5) 健康増進ハンドブック「40代からの健康いきいきガイド」の増刷・頒布

警察職員の健康増進を図るため、現役時代はもちろん、退職後も悠々おおらかな60代、70代、80代を送っていただきたいとの観点から40代以降の警察職員に向けたハンドブック「40代からの健康いきいきガイド」を9,740部を頒布した。

経費は、1,441,110円である。

(令和2年度は、1,718,750円)

7 海外研修に参加する警察職員の支援事業

海外における研修会で警察諸活動に資すると認められるものに参加する警察職員に対し、財団が研修会の参加に係る費用の一部を支援する事業であるが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い研修参加者はいなかった。

経費は、0円である。

(令和2年度は、0円)

8 海外から帰任した警察職員に対する宿泊助成事業

海外から帰任した警察職員に対し、新型コロナウイルス感染症の感染防止を図るため、民間宿泊施設を利用した場合の宿泊助成事業である。

なお、大半は警察共済組合が行うため当財団の支援は一部の職員に限られる。

経費は、 67, 133円である。

(令和2年度は、160, 339円)

9 調査研究事業

警察職員及び地域住民（年金受給者等）に対する福利厚生についての支援事業を、よりよいものとするために必要な調査研究について検討を行った。

経費は、0円である。

(令和2年度は、0円)